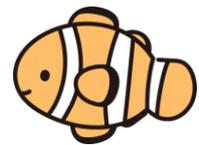


小学校  
 てい がく ねん  
**低学年**  
 のみなさんへ

# イチ**押し**の本！



よつかいどうし  
 四街道市がオススメする本です。ここにのっている**“押し本”**を、ぜひ読んでみてください！

**あおくとときいろちゃん**  
 レオ・レオニ（至光社）

あおくとときいろちゃん  
 は一番の仲良し。やと出てきて喜ぶうちに…。形のおもしろさ、色の美しさが生かされ、本当の子どものように動いて見える作品です。

**うらしまたろう**  
 秋野不矩（福音館書店）

いじめられているカメを助けたい。うらしまたろうは、お礼に竜宮城へよばれて行きました。そこでもらったおみやげの玉手箱を開けると…

**えんぴつびな**  
 長谷川知子（金の星社）

宝物は、疎開先でいたずらっこのシンペイちゃんにくれた短い鉛筆のおひな様。もう会えなくなつたシンペイちゃん。戦争の悲しさやこわさを感じられる作品です。

**王さまと九人のきょうだい**  
 赤羽末吉（岩波書店）

顔も体つきもそっくりな九人兄弟。名前がちからもち、くいしんぼう、はらいっぱい、ぶつてくれ…。力を合わせて悪い王さまに立ち向かいます。中国の昔話です。

**かいじゅうたちのいるところ**  
 モーリス・センダック（富山房）

イタズラ好きのマックスがおおきな狼の着ぐるみをかぶり、たどりついたところは、「かいじゅうたちのいるところ」。何度も読み返したくなるファンタジーストーリーです。

**からすのパンやさん**  
 かこさとし（偕成社）

いずみかもりの『からすのパンやさん』は、4羽のあかちゃんを、やさしく大切に育てます。ある日、みんなですてきなかたちのパンを焼きました。すると！

**ガンピーさんのふなあそび**  
 ジョン・バーニンガム（ほるぷ出版）

ガンピーさんが舟に乗ろうとすると、いろいろな動物たちが「一緒に連れて行って。」と舟に乗り込んできます。ゆかいなふなあそびになります。

**ぐりとぐら**  
 おおむらゆりこ（福音館書店）

料理が大好きな野ネズミのぐりとぐらが、野原で拾った大きな卵。二人は材料をもってきて野原でお料理をします。何ができるのかな。

**こいぬがうまれるよ**  
 ジョアンナ・コール（福音館書店）

子犬が生まれてくる様子や成長する様子がたくさんある写真とともにおおきな犬の姿が描かれています。「犬を飼ってみたいなあ」と思ってしまう。

**さっちゃんのまほうのて**  
 たばたせいいち（偕成社）

先天性四肢欠損という障害をもつて生まれたさっちゃん。傷つきながらも現実を受け入れ、力強く歩き始める、元気になる作品です。

**スイミー**  
 レオ・レオニ（好学社）

小さな魚のスイミー。一びきだけでは大きな魚に勝てません。スイミーは考えました。みんながいっしょに泳げば大きな魚に見える！

**だいくとおにろく**  
 赤羽末吉（福音館書店）

だいくとおにろくのやりとりがおもしろく、物語を想像しながら読める作品です。絵本の中に動物が10種類出てくるのでぜひ探してみてください。

**たんぼぼ**  
 平山和子（福音館書店）

どんなところでも強くたくましく生長するたんぼぼの姿を描いた作品です。植物の生長も学びながら読むことができます。

**ちいさいおうち**  
 バージニア・リー・パートン（岩波書店）

ちいさいおうちは、丘の上から周りの景色をながめながら、幸せに暮らしてきました。しかし、家の周りはだんだんと変わっていき…

**ちいちゃんのかけおくり**  
 上野紀子（あかね書房）

第二次世界大戦のお話。空襲にあった、ちいちゃんの家が体験したことが優しく悲しく描かれています。戦争について話し合うきっかけになると思います。

**チムとゆうかんなせんちょうさん**  
 エドワード・アーティゾーニ（福音館書店）

船乗りになりたいチムは、ないしょで大きな汽船に乗り込みますが、つらい仕事もこなし、船長たちに気に入られます。そんなある夜、すごい嵐になって…

**てぶくろ**  
 エウゲーニー・M・ラチョフ（福音館書店）

おじさんが落とした手袋が大変なことになってしまいます。動物たちがたくさん入った手袋。どうなってしまうのかわくわくします。

**のはらうた**  
 くだうなおこ（童話屋）

「のはらみんなの代理人」と称する工藤直子の自然をうたったほんわりとした感じの詩。登場する仲間達もホント楽しいですよ。

**はじめてのキャンプ**  
 林明子（福音館書店）

キャンプに行ったことはありませんか？なほちゃん、はじめてのキャンプに行きました。じょうずにキャンプができるかな？

**ひとまねこざる**  
 H・A・レイ（岩波書店）

まねをするのが好きなおさるのジョージ。なかよしの黄色い帽子のおじさんと一緒に出掛けた先々でいろいろな事件が起こります。

### ふたりはともだち

アーノルド・ローベル (文化出版局)



かえるくんとがまくんがくりひろげる五つのお話。ふたり二人の互いにおもいやる気持ちがあたたかい気持ちにしてくれます。

### 「ぼくはめいたんてい」シリーズ

W・シャーロット (大日本図書)



パンケーキの大好きなぼく、名探偵のネットは、相棒の犬スラッジと、いろいろな事件を解決します。ぼくは探偵らしいかつこうをして、ママに置き紙を書いて出かけます。今日の事件は何か？

### ぼんぼん山の月

渡辺洋二 (文研出版)



お月様と子ウサギの印象的な表紙から始まりです。やまんばの優しい気持ちがそつと

心にしみるお話です。

### みしのたくかにと

松岡享子 (こぐま社)



ふとつちよおばさんは、一粒の小さな種を植えます。「とにかくたのしみ」が実る

までの、わくわく、楽しいお話です。

### もりのおとぶくろ

わたりむつこ (のら書店)



こうさぎ達は、けがをしたおばあちゃんを元気づけるため「もりのおと」を探しに出かけます。優しい文章と、すてきな音に出会えるお話です。

### もりのなか

マリ・ホール・エッツ (福音館書店)



森に住む動物たちが次々と登場します。動物たちの仕草や表情は、いかにもその動物らしく、かわいらしい作品です。

### やさいのおなか

きうちかつ (福音館書店)



「これなあに」という言葉とともに身の回りの野菜の断面が美しい絵とともに次々と紹介されています。いくつわかるでしょう？

### ろくべえまってるよ

長新太 (文研出版)



穴に落ちた犬「ろくべえ」を小学一年生5人がいろいろなやり方を考えます。助かるのかどうか引き込まれる作品です。

### あおい目のこねこ

エゴン・マチーセン (福音館書店)



あおい目のこねこがねずみのくにを探しに出かけました。そこへ行けばきっともうおなかをすかせることなくてないでしょう。はたしてこねこはねずみのくにに行けたでしょうか。

### いやいやえん

中川李枝子 (福音館書店)



しげるはチュールツプ保育園のばら組です。保育園には、もう一つ来年、学校に行くほし組があって、みんないぼっています。しげるはうらやましくなりません。

### おおきくなりすぎたくま

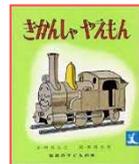
リンド・ワード (ほるぶ出版)



ジョニーはくまがりに出かけました。そこで出会ったのは、くまはくまでもこぐま。ジョニーは、そのくまをかうことにしますが、大きくなるにつれて食べものをあらすようになってしまいました。

### きかんしゃやえもん

岡部冬彦 (岩波書店)



やえもんはとても年をとった機関車。ある日、まちで電気機関車にばかにされたやえもんは、おこつてけむりといっしょに火の粉をはきながら走ったので、田んぼが火事に。

### くしゃみくしゃみ天のめぐみ

松岡享子 (福音館書店)



ひよんなことからはくしゃんと呼ばれるようになった若者が、くしゃみのおかげで長者のむこになるお話のほか、たのしいお話が4つ入ったお話集です。

### くまの子ウーフ

神沢利子 (ポプラ社)



ウーフは遊ぶこと、食べること、そして、考えることが大好きなくまの男の子。ウーフの考えたいろんな「なぜ」のお話がいっぱいあります。

### チム・ラビットのぼうけん

アリソン・アトリー (童心社)



ある日、チムは大きなはさみを拾いました。お父さんは大よろこび。はさみは何でも切れて便利だからです。でもチムは、このはさみで家中のものを切り始めて…。

### 番ねずみのヤカちゃん

リチャード・ウィルバー (福音館書店)



ドさんの家のかべとかべの間にお母さんねずみと4匹の子ねずみが住んでいました。子ねずみのうち4匹目はとっても声が大きくてヤカちゃんと呼ばれていました。

### ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフ (岩波書店)



ペレは自分の子羊をかかっています。やがて、ペレも子羊も大きくなり、ペレの上着は小さくなりました。そこでペレは子羊の毛をかり、おばあちゃんのところへ。

### ものぐさトミー

ペーン・デュボア (岩波書店)



トミー・ナマケンポの家は電気がかかぬ。朝になるとベッドが自動でうごいてトミーをおこします。ところがある日、嵐で電線が切れ、電気が来なくなりました。

### よわいかみつよいかたち

かこさとし (童心社)



一枚のはがきを切ったり折ったり重ねたりすることで重いおもりにたえられるように…。弱い紙でも形を工夫することで強くなることを実験で明らかになります。

### ロバのシルベスターとまほうの小石

ウィリアム・スタイグ (評論社)



ロバのシルベスターが拾った赤い小石は、さわってれば何でも望みがかなう魔法の小石。ところが家に帰る途中ライオンに出くわし、とっさに岩になりたいと願ってしまいました。



き 気になる本はありましたか？

よ お 読み終わったら家族や友達に感想を伝えて、どくしょ わ ひろ 読書の輪を広げましょう！

しなない ほん か だ 市内で本の貸し出しをしている

がっこう としよかん よつかいどうしりつとしよかん よつかいどうこうみんかん あさひこうみんかん ちよだこうみんかん 学校の図書館・四街道市立図書館・四街道公民館・旭公民館・千代田公民館

でも探してみよう！